

2010年4月6日

お客様各位

日商エレクトロニクス株式会社
ソリューションパートナー事業本部
技術統括部 サポート第二グループ

MOS3.10.9a- GA リリースのご案内

拝啓

貴社益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。

平素は格別なるご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、この度 MOS3.10.9a-GA のリリースを弊社より開始させていただきます事をご案内申し上げます。

バージョンアップをご希望されるお客様は、下記内容をお読みの上インストールをご実施頂きます様、宜しく願い申し上げます。

敬具

- 記 -

対象のお客様

次の何れかの条件を満たすお客様はバージョンアップが可能です。

- ・Mirapoint 4, 5シリーズハードウェアモデル(1)、若しくはRG100をご使用中のお客様
- ・ご購入から一年以内、若しくは保守契約を締結されているお客様

(1) Mirapoint4, 5シリーズ:

RG300, RG350, MD450, RG450, M450, M4500, M4500n, M4500s, RG500, M50,
M500, M5000, M5000n, M5000s

MOS3.10.9a-GAの新機能と変更点

<新機能>

MOS3.10.9a-GAから新たに追加された機能はありません。

本リリースは、MOS3.10.8-GAの修正版リリースとなります。

<主な変更/修正項目>

MOS3.10.9aに於いて修正された主な項目は次の通りです。

1. AVスキャンエンジン(F-Secure)

F-Secureを使用している環境に於いて、稀にアンチウイルススキャンエンジンの更新が正常に行われない場合があります。本バージョンでこの問題を修正しました。

2. システムログ

2.1. 無効なエラーメッセージが表示される不具合

netmonping機能による定期的なping疎通確認を無効にしているにも関わらず、システムログにping疎通が失敗した事を示す下記エラーメッセージが表示される場合があります。本バージョンでこの問題を修正しました。

```
System Alert: External DNS Service check failed to 192.168.0.1: "Ping Check Blocked"
```

2.2. システムログが改行されない不具合

TCPコネクション制御機能を有効にしている場合、その制限を超過した場合のログ出力が改行されずに表示される問題がありました。本バージョンでこの問題を修正しました。

3. レピュテーションハードル

3.1. レピュテーションハードルの機能不具合

これまで、DB参照に使用するhttpクエリーの動作をhttp proxyサーバを経由で行なうことが出来ませんでした。本バージョンでhttp proxyサーバを経由出来る様に修正しました。

3.2. レピュテーションハードルのコンフィグエクスポート不具合

これまで、レピュテーションハードルに関わる設定はコンフィグを取得した際に正しくエクスポートされませんでした。本バージョンでこの問題を修正しました。

4. SMTPリスナーポートの設定

SMTPリスナーポートを複数登録している場合、コンフィグを取得した際にその内容が正しくエクスポートされませんでした。本バージョンでこの問題を修正しました。

MOS3.10.9a-GA 既知の問題

MOS3.10.9a-GAに於いて、次の問題が見つっております。

1. AutoReply

AutoReply機能をldap連携させた場合、ldap側に更新内容が反映されません。

2. フィルター

EnvelopeToを条件指定した場合、フィルターが機能しません。

3. エクスポート(domain=any)

MOS3.10.9a-GAへバージョンアップ後、uceのエクスポート(domain=anyのみ)が一時的に出来なくなります。

```
CLI>uce exportexceptions (domain=any)
```

```
NO Internal error (34:128)
```

この状態でGUIのコンフィグエクスポートを実行すると、uceの設定がエクスポート結果に反映されません。バージョンアップ後は次のWorkaroundを必ず実施頂きます様お願いします。本作業を実施されておらず障害等による機器交換が発生した場合、お客様によるuceの再登録を実施頂く必要があります。

< Workaround >

MOS3.10.9a-GAへバージョンアップ終了後、一旦適当な設定を登録/削除してください。

以後、正常にエクスポートが可能になります。

例)

```
CLI> uce addexception "(domain=any)" suspectlist 10.14.0.100
```

```
CLI>uce deleteexception "(domain=any)" suspectlist 10.14.0.100
```

4. LDAPリダイレクト

WebMail Direct Standard Editionを使用しており、かつLDAPリダイレクト機能を使用している場合、リダイレクト先のメールサーバにログイン出来ません。

本問題への該当有無につきましては、以下のコマンドにより確認可能です。

```
CLI>license list
```

結果にWebMail Direct Standard Editionが含まれている

```
CLI>http get mode
```

ldapredirectが表示される

上記を両方とも満たす場合、本問題に該当いたします。

なお、本問題は言語設定が日本語の場合にのみ該当し、英語の場合は該当いたしません。

MOSバージョンアップの前に

バージョンアップの実施に際して、次の点にご注意ください。

- 注1) バージョンアップ進行中は、システムを再起動しないでください。バージョンアップ終了後に自動的に再起動が実施されます。尚、バージョンダウンは出来ません。
- 注2) ブランディングを実施されている場合、事前に現在のブランディングファイルを取得しておき、バージョンアップ終了後に再適用してください。尚、古いMOSバージョンのブランディングは引継げない可能性があります。その場合は、お客様ご自身にてブランディングを再作成して頂く必要があります。
- 注3) クラスタシステムをバージョンアップする場合、クラスタを解除後(Standby 停止後)にバージョンアップを実施してください。
- 注4) スプールサーバをバージョンアップする場合、事前にシステムのフルバックアップを実施される事をお勧めします。RazorGate シリーズの場合は、システムコンフィグを事前にバックアップしてください。
- 注5) MOSバージョンアップを実施するには、Upgrades Allowed ライセンスが必要です。ご使用中のMirapoint にインストールされている事を事前にご確認ください。

```
CLI > license status
```

```
Upgrades Allowed
```

MOS3.10.9a-GA の入手先

メーカーFTP サイトからモジュールをダウンロードしてください。

ダウンロードしたモジュールは、バージョンアップ対象のMirapoint からアクセス可能なネットワーク上のanonymousFTP サーバ、若しくはHTTP サーバに一旦保存してください。

< MOS3.8.xをご使用中のお客様 >

入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/R3_10_9a_GA.mpu3

< MOS3.10.xをご使用中のお客様 >

入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/P3_10_9a_GA.mpu3

MOS3.10.9a-GA へのバージョンアップ方法

事前にサービスを停止し、必要に応じてBackupを実施した上で実行します。

Mirapoint にadministratorでコマンドログイン

update install コマンドを実行

< anonymousFTP サーバをご利用の場合 >

CLI > update install ftp://ftp サーバのFQDN(/パス)/ファイル名

< HTTP サーバをご利用の場合 >

CLI > update install http://http サーバのFQDN(/パス)/ファイル名

実行例)

- 1 . update install コマンドを実行

CLI > update install http://192.168.xxx.xxx/mirapoint/R(P)3_10_9a_GA.mpu3

- 2 . 上記コマンド実施後、次のメッセージが表示されますので「y」を入力

Some updates can automatically reboot the system. Continue? (y/n)

インストール完了後、Mirapoint は自動的に再起動します

バージョン確認

再起動完了後、administratorにて再度コマンドログインしバージョンを確認します。

CLI > version (MOS3.10.9-GAと出力されればバージョンアップは完了です)

Patch

MOS3.10.9a-GAへバージョンアップ後、次のPatchの適用をお勧めします。適用は、MOSバージョンアップと同様にupdate installコマンドを用いて実行します。(バージョンアップ方法の項参照)

・D3_Adjust_SMTTP_Params

smtp 通信終了後、相手側 MTA に対して QUIT コマンドを即発行する Patch です。

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/mert/D3_Adjust_SMTTP_Params.mpu3)

本Patch はupdate install 時にパッチ名の最後に下記のように下線オプションを指定する必要があります。

```
CLI > update install http://192.168.x.x/D3_Adjust_SMTTP_Params.mpu3?timeQuit=120s&cacheSize=0
```

パッチ適用時は自動でsmtpが再起動します。

・E3_SophosDA

VirusCheckに於いて、passwordで保護された添付ファイルをスキャンした場合、デフォルト動作のスキャンが失敗したとのメッセージが対象メールの本文に挿入されます。このメッセージ挿入を実施させない場合に本パッチを適用します。

(入手先: ftp://ftp.mirapoint.com/pub/updates/E3_SophosDA.mpu3)

本パッチはsmtpサービス稼動中に適用してください。

(サービスを停止した状態で適用すると正しく反映されない場合があります。)

パッチ適用に伴うサービス再起動は発生しません

お問い合わせ窓口

日商エレクトロニクス株式会社
ソリューションパートナー事業本部
技術統括部 サポート第二グループ
e-mail: mp-tech@nissho-ele.co.jp

改訂履歴

2010/4/6 初版

以上